

新盛里山耕流塾

NEWS もりの里 8月号

梅雨が明け、夏本番となり、農作物の成長が著しくなりましたが、もりの里 市民農園の畑には、ハクペシンだけでなく、サルも侵入し、トウモロコシなどの農作物が被害を受け、里山の暮らしの大変さを身をもって体験することとなりました。

ご意見・ご感想はこちらへ
足助支所地域振興担当 多和田、山田
TEL: (0565)-62-0601
E-mail: asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp

発行:足助支所 発行日:平成21年9月1日

8/2&9にもりの里 農業塾、8/23に旬裁食、8/29にそばづくりコースが開催されました！

もりの里☆市民農園

減農薬・有機栽培に挑戦?! 活かした野菜を育てよう! の巻

8月2日は、もりの里 農業塾・畑の講座を行いました。



減農薬、有機栽培農業を実践されている、成瀬弘治氏を講師に迎え、秋冬野菜の栽培方法や自然に適した農作物の育て方などを講師自身の経験を基に講演をしていただきました。

化学肥料と有機肥料の違いや肥料が野菜に作用する力や影響を学びました。

今までの農業雑学で問題ないと思われていた部分が、野菜にとってはいい迷惑であったことが解り、大変勉強になりました。

市民農園の利用者も、自分で育てた野菜を収穫して味わっているのので、講師の話は、実感として理解できたことと思われます。

もりの里☆市民農園

もりの里 農業塾 田 稲の病害虫について学ぶ の巻

8月9日は、もりの里 農業塾・田の講座を行いました。



今回は、稲の病害虫について学びました。今年は、冷夏気味のため、イモチ病が心配され、害虫では、ウンカやカメムシなどが見られました。資料を基に病害虫の被害を受けた様子の写真などで講義を受けました。

その後、それぞれのほ場で、被害状況の確認を行いました。イモチ病が少し出ているところや、害虫では、カメムシが4種類ほどついているところがありました。

拠点小屋が完成

プレ山遊びコースで製作した拠点小屋は、屋根の塗装やテーブルとベンチの据付も終わり完成しました。



講座の成果? の巻

8月12日にイモチ病やカメムシ対策に効果があるといわれている消石灰を散布しました。

秋晴れのような夏の空に高く舞う消石灰の粉末が、雲のようでした。



旬裁食

新型耕運機デビュー の巻

8月23日は、夏野菜の収穫と稲刈りの準備が行われました。



午前、調理班、はざ作り班、苗作り班に分かれて作業を行いました。

はざ作りは、スチールパイプ製のものを組み立てました。苗作りは、来年の植え付け用のイチゴの苗作りを行いました。イチゴの苗は、親つるより子つる、孫つる、ひ孫つると選別しました。

昼食は、調理班によるネバネバ丼、柴漬、中華風サラダを試食しました。

午後は、3日前に納車された耕運機で畑の耕起を行いました。耕運機の作業方法は、最初に作業を行った方が、次の方に作業方法を指導するというので進められましたが、作業方法を理解できていない方は、うまく伝えられず、慣れない耕運機に振り回されて苦労されていました。

ほっ、とひと息 ~写真集~



受講生の感想

はざの土台の穴掘りが四角くきれいに掘れるもんだなと感心した。みんなでコンビネーション良く作業ができて良かった。

ネバネバ丼は、普段、緑の野菜を食べない子どもが喜んで食べて良かった。

ヒキガエルと遊んだ。いが栗が取れて良かった。

はざが鉄棒みたいに遊べて楽しかった。

そばづくり

感動!!花が咲いた!! の巻

8月29日は、草刈とそばの花のしおりづくりを行いました。

午前、畦の草刈と畑の草取りに分かれて作業を行いました。

草刈は、慣れた手つきで草刈機を操作し、作業もはかどりました。

畑のそばの周りの草は、手で取り除き、満開のそばの花も手入れをされて嬉しそうでした。



午後は、そばの花を摘み取り、押し花づくりを行いました。子どものときを思い出しての作業に夢中になりました。

この講座としては、初めてののんびりとした作業に心から癒されました。

自然とのふれあい



白そば (White buckwheat)



高嶺ルビー (Takane Ruby)

